



佐世保市立花高小学校 学校だより

花高山 (はなたかやま)

<http://www.city.sasebo.ed.jp/es-hanataka/>

令和6年5月15日 第3号

佐世保市立花高小学校

佐世保市花高三丁目4番1号

TEL:0956-38-8814 FAX:0956-38-8826

(文責 校長 松尾 信広)

<令和6年度 花高小学校 学びのスローガン>

「はなたか だいすき！！」 ○キラキラみがきあい ○ニコニコささえあい ○ワクワクわかりあい

前号で、現在の学校が置かれた状況等のお知らせを、4月25日(木)に行われたPTA総会の校長あいさつ掲載という形で行いました。今号では、さらに具体的に本校教職員がどのような1日を過ごしているのかをおして、学校の状況等をお知らせします。主に学級担任の大まかな動きになりますが、紹介させていただきます。

本校の勤務時間は、8時20分から16時50分となっており、原則13時00分から13時45分が休憩時間となっています。(水曜日は12時45分から13時30分)教職員は、早い者で勤務開始の1時間ほど前から出勤し、授業の準備を行ったり、教室で児童を出迎えたりします。勤務時間前から、家庭学習やその他提出物の確認等を行う教職員もいます。

8時20分の業務開始を待って朝の活動になります。曜日によって異なりますが、朝の会、健康観察、スキルタイムに読書タイム、フッ化物洗口、全校朝会等を行う日もあります。朝の会では、前日の振り返りやその日の活動等の確認等を行います。健康観察は児童の心身の健康状態等を確認する大切な時間になります。

8時45分(水曜日は8時30分)から1時間目の授業開始です。授業時間は45分間です。これを午前中4時間行います。(途中の休み時間は10分間)4時間目終了時刻は12時15分です。(水曜日は12時00分)

そして12時15分から13時00分が給食・歯みがき指導です。**ただの食事時間ではありません。歯みがき等を含めた生活習慣やマナー、栄養等について指導を行う時間**になります。(水曜日は12時00分から12時45分)

給食指導が終わると昼休みです。教職員は休憩時間となります。しかし、その多くの時間は提出物の確認をしたり、採点をしたり、授業の準備をしたり、各委員会の仕事を支援したりしています。子どもたちからの誘いで昼休みに一緒に遊ぶ教職員もいます。

昼休みの後、水曜日以外は清掃指導です。因みに世界の国で、清掃指導を行う国は、日本以外にそう多くはないそうです。(給食指導も)

清掃指導が終われば、午後の授業です。低学年で原則1時間、その他の学年で原則2時間授業を行います。

授業が終了すると、下校指導の時間です。明日の準備等の確認や**安全指導(これを行わない日はないといってもよいくらい繰り返し行っています。)**を行い、学年にもよりますが、遅くとも16時00分を目安に下校となります。(水曜日は14時35分頃、その他の曜日で5校時で下校の場合は15時05分頃を目安に下校します。)

児童の下校後、ようやく教職員の学級事務の時間になります。高学年では勤務時間終了まで1時間もありません。この1時間弱の間に、次の日の授業準備や採点等の成績処理、担当の分掌や行事等の計画・立案・準備等、必要があれば保護者の方への連絡等を行います。

そして16時50分の勤務時間終了時刻を迎えます。しかし、始業前から出勤し、7時間45分業務を行っても、その業務の特性上勤務時間終了後に、勤務時間内でできなかった残務処理等を行う教職員は少なくありません。加えて学期末や年度末になると、これに通知表や指導要録作成等の業務が加わってきます。本校では、校舎の施錠時刻を、遅くとも勤務時間終了の1時間40分後の18時30分と設定をしています。しかし、徹底できているかといえば、残念ながらそうではなく、特に年度初めや学期末、年度末の繁忙期には、施錠時刻は遅くなってしまいう状況です。

とはいえ、保護者の皆様の御理解と御支援もあり、業務改善は着実に進んでいるといえます。今年度も日課を工夫し、できる限り学級事務の時間の確保ができています。その成果もありマスコミ等で話題になる超勤80時間(国が示す過労死ライン)越えの教職員はいません。しかし、国が示す超過勤務の上限である45時間越えの教職員は、残念ながらゼロではありませんでした。これは、校長として大いに反省し、最重要課題として解決策等を模索する毎日を送っています。

中央教育審議会の「次期教育振興基本計画について(答申)」(令和5年3月8日)には、次期計画のコンセプトの一つとして「**日本社会に根差したウェルビーイング(※)の向上**」を掲げています。(※**ウェルビーイング…身体的・精神的・社会的に良い状態にあること。短期的な幸福のみならず、生きがいや人生の意義などの将来にわたる持続的な幸福を含む概念**)子どものウェルビーイングの向上のためには、教職員のウェルビーイングの向上は必須と考えます。溢れる情熱と優しさに満ちた教職員の指導で、子どもたちに「**たくましく未来を切り拓くことができる心豊かな人**」になってほしいと心から願っています。そのためにも、**教職員がもっとゆとりを持って、もっと指導に集中できる環境づくりを、高い意識を持って進めなければならぬ**と、校長として決意を新たにしているところです。今後も引き続き、学校で「**できること**」は徹底して行い、「**できないこと**」はためらいなくやめる等の**メリハリを持った業務のあり方についての研究**を続けていく所存です。

保護者の皆様にも、何かと相談をさせていただくこともあろうかと思えます。引き続き御理解と御支援をよろしく願います。

いのちかがやく強調月間

佐世保市では、平成16年6月、平成26年7月に発生した大変痛ましい事件をきっかけとして「心の教育の更なる充実」「コミュニケーション能力の向上」「子どもの居場所づくり」「学校と家庭、関係機関との連携・協働を図る」の4つの柱を掲げ、「いのち」の重みを心から感じ取り、思いやり深く人とかかわることのできる児童の育成を進めてきました。

この度、令和5年10月に「佐世保市教育大綱」が改訂され、その「目指すべき子どもの姿」に、「すべての子どもたちが、幸せと生きがいを感じながら主体的に学び、未来を切り開くための必要な力を身につける」と示されました。これを受け「佐世保市の子どもたちが、幸せと生きがいを感じながら、命を輝かせ笑顔あふれる人生を送ってほしい」という願いを込めて、今年度より「いのちを見つめる強調月間」から「いのちかがやく強調月間」へ名称変更となります。

本校においても5月31日（金）の「いのちを見つめる日校長講話」をはじめとして、道徳の公開授業等の取組をとおり、改めて大切な「いのち」について、じっくり向き合う1か月にしていきたいと思っております。

保護者の皆様、御理解と御支援をどうぞよろしくお願い致します。

※ 「いのちかがやく強調月間」の取組については、後日文書にて改めてお知らせをいたします。

「キラキラ」をいっぱいにするために…

下にお示しするのは、令和6年5月7日（火）の全校朝会における校長講話です。

子どもたちに、学びのスローガン「はなたか だいすき！！」の3つの「あい」ことばの一つである「キラキラみがきあい」（未来社会に生きる資質・能力の育成）の「キラキラ」をいっぱいにするためのお願いをしました。

「未来社会に生きる資質・能力」の最たるものは「**主体性**」です。なぜならば、予測困難とされる未来社会で、目の前に次々と現れる壁（課題）は、自ら考え、自らの力で乗り越えるしかないからです。その「**主体性**」を育むための源が、自ら思い描く「**夢**」であると思うのです。自ら思い描いた「**夢**」であれば、その実現の過程にどんな壁が出現しようとも、乗り越えるためのチャレンジが、何度も繰り返しできると考えます。そして、そのチャレンジの繰り返しそのものは「成長」へとつながっていきます。「夢」をもち、成長し続けることで、たくましく未来を切り開く、心豊かな人になってほしい…そのような願いを込めて話をしました。

低学年には少し難しい内容と思いましたが、どの学年も真剣な眼差しで、話に耳を傾けてくれましたので、朝から清々しい気持ちになりました。

ご家庭でも、お子様の「夢」について、時々話題にされてみてはいかがでしょうか。

おはようございます。「はなたか だいすき！！」

まずはお礼を言います。素敵なお顔をを見せてくれてありがとうございます。ゴールデンウィーク明けですが、校長先生は、元気が出ました。うれしいです。

お話の前に、これを見てください。（ビニール袋を見せました。）ゴールデンウィーク前とゴールデンウィーク中に学校で拾ったゴミです。このゴミはどこから来たのでしょうか？地面から生えてきたのでしょうか？

大人でもゴミをポイっと捨てる人はいます。一方でゴミを拾う人もたくさんいます。校長先生は、この花高小学校をきれいな学校にしたいので、ゴミを拾い続けます。花高小学校の皆さんには、少なくとも「捨てない人」になってほしいなあ…と思います。この気持ちが皆さんに伝わるとうれしいです。

（ここからパワーポイントを使用しました。）

さて「はなたか だいすき！！」の3つの「あい」ことばの一つ「キラキラみがきあい」の「キラキラ」をいっぱいにするために、みなさんにぜひもっていただきたいものがあります。それは「**夢**」です。「夢」と言っても、寝ているときに見るほうではなく、将来どんなことをしたいかな…の方の「**夢**」です。

（大谷翔平選手の写真を見せて）この人わかりますか？

アメリカで大活躍の野球選手、大谷翔平さんです。

大谷翔平さんは、プロ野球になりたいという夢を持ち、その夢をかなえるために、何をすべきか色々なことを考え、たくさん頑張って今の活躍につながっています。

「夢」は、みんなを「キラキラ」光り輝かせるものです。どうか皆さんも、まだぼんやりとでいいので、将来の「夢」をもってください。

君たちの可能性は無限大です。なろうと思えば何にでもなれます。そうではない校長先生からすると実にうらやましいです。

（因みに大谷翔平さんは「ゴミを拾う人」です。）

最後に「夢」に関する、大谷翔平さんの言葉を紹介します。

「人生が夢をつくるんじゃない。夢が人生をつくるんだ」

以上でお話を終わります。心を込めて聞いてくれてうれしいです。ありがとうございます。

